

# 宮崎大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科 専門修練プログラム

## 1. プログラムの概略・特徴

当科では、耳・鼻・咽喉頭・頸部の疾患を、良悪性疾患に極端に片寄らずバランスよく経験することができる。また、手術手技定着のため経験年数に応じた習得目標を設定し、すぐれた術者の育成に取り組んでいる。研修期間中に執刀が経験できるのは、口蓋扁桃摘出術、アデノイド切除術、耳瘻孔摘出術、気管切開術、鼓膜切開術、鼓室チューブ留置術、ラリngoマイクロサージャリー、副鼻腔内視鏡手術、鼓室形成術などである。さらに高度な人工内耳手術、聴神経腫瘍摘出術、再建手技を併用した頭頸部悪性腫瘍手術などには助手として参加することができる。また、これら手術に関連する検査のほとんどを自らが経験することで、より深い知識を修得する。

## 2. 研修目標

### 【一般目標】

研修期間中に耳鼻咽喉科・頭頸部外科の基本的な知識と技能を修得することを目標とする。

### 【行動目標】

アレルギー性鼻炎、鼻出血、副鼻腔炎、咽頭炎、喉頭炎、中耳炎、外耳炎、めまい症、頸部リンパ節腫脹、頭頸部腫瘍など日常診療で遭遇する疾患・症候に対する確かな診断ができ、適切な治療方法が選択できるようになる。耳鼻咽喉科専門医取得時には開業医レベルに達することを目標にする。

## 3. 研修スケジュール

- 3年目：耳鼻咽喉科専門研修の初年度として、外来診療では、基本的な耳鼻咽喉科検査、疾患の診断・治療を研修する。病棟診療では主治医としての耳鼻咽喉科患者に対する基本的診療を学習する。執刀医として、最も多い口蓋扁桃摘出術を習得するとともに、顔面などの繊細な縫合法を習得する。また、助手として多くの頭頸部手術を経験する。
- 4年目：鼻科手術の習得を主に行う。鼻科手術を通じて鼻の解剖と生理に習熟する。耳鼻咽喉科の中で最も汎用される内視鏡を用いた手術を行うことで、内視鏡操作と手術手技の習得を行う。この頃には、関連施設に出向して多くの症例の主治医また執刀医として技術の向上と研鑽を行う。
- 5年目：耳科学の中でも耳科手術、特に鼓室形成術の習得を行う。耳科手術は側頭骨内の繊細な解剖と器官を、手術用顕微鏡を用いて行うため、側頭骨内の中耳耳小骨、顔面神経、鼓膜、外耳道の解剖と術式、顕微鏡下の器具の操作法を習得する。
- 6年目：耳鼻咽喉科・頭頸部外科の中で、主に頸部疾患の診断治療と手術習得を行う。特に、甲状腺、耳下腺、顎下腺などの手術に加え、悪性腫瘍に対する頸部郭清術、喉頭全摘術を習得する。また、その他の悪性腫瘍の手術について第一助手として技術の習得につとめる。この次期には耳鼻咽喉科頭頸部外科のほとんどの症例を経験することになり、基本的な技術は習得される。これまでの症例をまとめて、耳鼻咽喉科専門医試験を受ける。

## 4. 評価

日本耳鼻咽喉科学会認定耳鼻咽喉科専門医の取得。

## 5. 募集人員

3名

## 6. 実施責任者

宮崎大学医学部感覚運動医学講座 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野 教授 東野 哲也

## 7. 指導責任者

宮崎大学医学部感覚運動医学講座 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野 教授 東野 哲也

原則として、10年以上の臨床経験を持つ2名以上の指導担当医とマンツーマンで研修する。

## 8. 関連施設、学会認定状況

県立延岡病院                      県立宮崎病院                      国立病院機構都城病院                      県立日南病院  
鹿児島市立病院                      千代田病院（日向市）                      海老原総合病院（高鍋町）                      潤和会記念病院（宮崎市）  
串間市民病院（串間市）                      宮崎市立田野病院（宮崎市田野町）                      日南市立中部病院（日南市）  
昭南病院（鹿児島県曾於市）                      大隅鹿屋病院（鹿児島県鹿屋市）                      古賀総合病院（宮崎市）

## 9. その他

耳鼻咽喉科専門医取得後、以下に挙げる専門医あるいは認定医を取得する資格を得る。

日本アレルギー学会認定アレルギー専門医

日本気管食道科学会認定気管食道科専門医（咽喉系）

日本めまい平衡医学会認定めまい専門医

日本頭頸部外科学会認定頭頸部がん専門医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医

## 10. 連絡先

宮崎大学医学部感覚運動医学講座 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野

TEL : 0985-85-2966

FAX : 0985-85-7029

E-mail : jibika@med.miyazaki-u.ac.jp